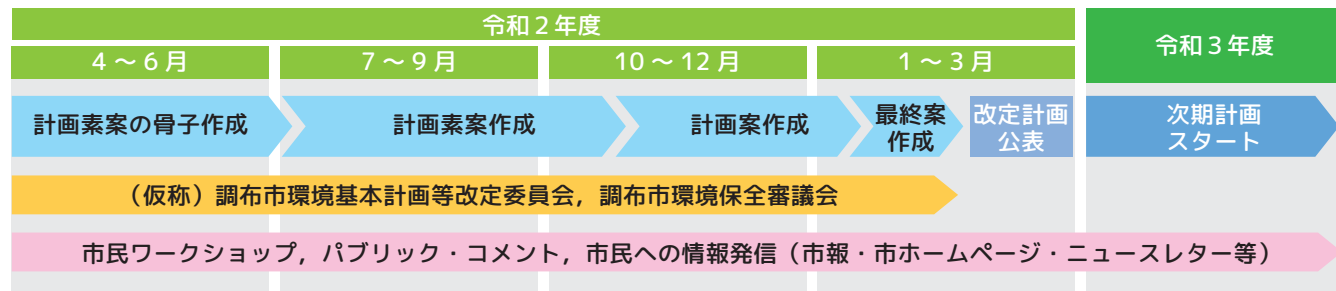


調布市環境基本計画等の改定スケジュール



※令和2年度に計画期間が満了となる「調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」についても並行して改定します。

令和2年春頃から市民ワークショップの開催（3回）を予定しています。
 詳しいご案内は、今後お知らせします。

※今後の検討状況に応じて、スケジュールは変更となる場合があります。

調布市環境基本計画等改定 ニュースレター

調布市環境基本計画・調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定に向けて

創刊号

令和2(2020)年
3月発行

刊行物登録番号
2019-199

調布市では、平成27年度に策定した調布市環境基本計画に基づき環境施策に取り組んでいます。本計画は、令和2年度に計画の中間年度を迎えます。また、市域から排出される温室効果ガス削減のため、平成21年度に策定した調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき取組を進めています。本計画は、計画期間が令和2年度に満了となります。このことから、令和2年度に両計画の改定を行うこととしています。

計画改定に向けた進捗状況・市民ワークショップでの検討状況等をお知らせするため、本ニュースレターを発行いたします。



調布市地球温暖化対策啓発キャラクター ゴヤたん

調布市環境基本計画とは？

調布市環境基本計画は、環境に関する調布市の施策、取組などを総合的に束ねるマスタープランです（計画期間：平成28年度～令和7年度）。

将来像のもとに、5つの基本目標と3つの重点プロジェクトを設定して、取組を推進しています。

詳しい内容はQRコードから



将来像

私が守る地球、私が育む調布の自然と暮らし
 未来に続く、緑と水あふれるほっとするまち調布

基本目標

- 基本目標 1** 豊かな緑と水や多様な生物を育むまち
- 基本目標 2** 人と環境が調和する快適で美しいまち
- 基本目標 3** 安心して暮らせる生活環境が確保されるまち
- 基本目標 4** 低炭素で循環型社会の形成を目指し実現するまち
- 基本目標 5** みんなの力でより良い環境を目指すまち

重点プロジェクト

- 1** 市民の心の安らぎ 緑と水を守るプロジェクト
- 2** みんなで目指す 環境先進都市プロジェクト
- 3** みんなが主役 環境を学んで楽しむプロジェクト

調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）とは？

調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）は、市の現状と地域特性を踏まえ、市民・事業者・市等の各主体が、各々の役割に応じた取組を、総合的かつ計画的に推進していくことで、市域から排出される温室効果ガス削減を目的とした計画です（現行の計画期間：平成22年度～令和2年度）。

詳しい内容はQRコードから



『調布市環境基本計画中間報告会 ～みんなで語ろう ちょうふの環境のいまとこれから～』を開催しました。

調布市では、調布市環境基本計画等に掲げるこれまでの取組の成果と課題を市民の皆様と共有し、今後の取組についてご意見を広くお聴きするため、令和2年1月25日（土）に調布市環境基本計画中間報告会を開催しました。（掲載している写真は当日の様子です。）



もくじ

- ▶ 調布市環境基本計画中間報告会を開催しました 1 2 3
- ▶ 調布市環境基本計画等の改定スケジュール 4
- ▶ 【解説】「調布市環境基本計画」「区域施策編」とは？ 4

調布市では、調布市環境基本計画等の改定について、「調布市環境基本計画等改定ニュースレター」を通じてお知らせしていきます。

編集・発行：調布市環境部環境政策課

【TEL】042-481-7086【FAX】042-481-7550

【E-mail】kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp



リサイクル適性 A

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

開催しました！

調布市環境基本計画中間報告会

～みんなで語ろう ちょうふの環境のいまとこれから～

日時：令和2年1月25日（土）午後2時～5時 場所：調布市教育会館 3階 研修室

調布市環境基本計画の中間見直しのため、①市職員から調布市の環境の現状・取組、成果・課題を報告した後、②調布市環境保全審議会 奥真美委員から基調講演をいただき、③それらを受けて、参加した市民の皆さんとワークショップを行いました。

QRコードから、詳しい開催結果を掲載した市のホームページにアクセスできます。



①調布市環境基本計画について（調布市職員）

調布市職員から、調布市環境基本計画の各基本目標に基づき、環境の現状・取組、成果・課題について報告しました。

基本目標1 市が考える現状の主な課題

- 貴重な自然環境を残す水辺、里山、農地などの保全に向けた取組の継続が必要
- 緑の保全活動や自然環境調査などの活動に新しい参加者を増やすことが必要
- 自然環境情報のデータベース化や市民のモチベーションを高めるための仕組みづくりの検討が必要

②基調講演



調布の環境、地球の環境

～多様化する環境問題と私たちにできること～

首都大学東京 都市環境学部
奥 真美 教授（調布市環境保全審議会委員）

不確実でも行動を起こすことが大切

地球温暖化や海洋プラスチックごみといった近年の環境問題には、次のような特徴があります。

- ・問題が複雑で、因果関係や影響が科学的に完全に証明されていない（科学的不確実性）
- ・影響が目に見えにくい（不可視性）
- ・問題が一度進んでしまうと後戻りがきかない（不可逆性）

このため、たとえ不確実な面があっても、問題が深刻になる前に行動を起こすことが重要になってきています。

調布市環境基本計画の見直しに向けて考えたいこと

計画の見直しに向けて、次のテーマについて考えていくことが必要です。

- SDGs*への対応
- 気候変動の影響への対応
- 食品ロスの削減
- プラスチックごみへの対応
- 次世代を担う子どもや若者を巻き込んだ活動

*SDGs(エスディー・ジーズ)：経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標。「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略。

③ワークショップ 班ごとに設定した4つのテーマに対し、課題と、その解決に向けてわたしたち（市民・事業者・市）にできることを話し合いました。

緑と水、多様な生物の保全、快適で美しいまちづくり



課題

- 崖線の緑や緑ある住宅地の街並みが必要。
- 市民への情報提供、若い人の関わりが不足している。
- 生物の生息状況の把握が不十分。

解決策

- まちなかの緑を残す方法を考えよう。
- 子どもたちが緑や水、農地に触れる機会を増やそう。
- 市民や市民団体が持つ生物の情報を活かそう。

循環型まちづくり（ごみ減量、マイクロプラスチックごみ、食品ロス）



課題

- 海洋ごみのもとになるポリ捨対策が必要。
- 食品の過剰包装を見直す必要がある。
- 小中学生に環境意識を持ってもらうための機会が不足している。

解決策

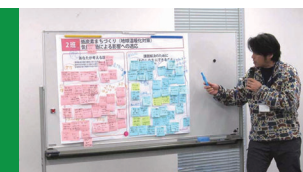
- プラスチックごみの分別を徹底しよう。
- ごみ拾い活動を進めよう。
- 容器包装類の回収、食品の量り売りを推進しよう。
- 持続可能な社会についての学習を進めよう。

奥先生からのコメント

各班の意見から、3つの大切なポイントが見えてきました。

- ・今ある課題をしっかりと見える化し、分かりやすく伝えること
- ・どのように解決を目指すのかを明らかにすること
- ・子どもたちをどのように巻き込んでいくか

低炭素まちづくり（地球温暖化対策）、気候変動による影響への適応



課題

- 低炭素から「脱炭素」への意識改革が必要。
- 再生可能エネルギーの利用が進んでいない。
- これまでにない台風への十分な備えが必要。
- 若い世代への働きかけ、子どもの環境教育が不足している。

解決策

- 市民に向けて「地球温暖化非常事態宣言」を出そう。
- 住宅のエネルギー対策への支援を充実しよう。
- 太陽光発電・電気自動車と蓄電池を組み合わせ、災害時の電源確保につなげよう。
- 親子で楽しく学べる機会をつくろう。

市民協働、みんなの力でより良い環境を目指すまちづくり



課題

- 子どもの育成、そのための学校との連携が必要。
- 協働が言葉だけになっている。
- 若い人の参加が少ない。
- 問題の可視化ときめ細かな情報発信が必要。

解決策

- 地域と学校や市の連携を進めよう。
- 協働に対する市職員の意識を変えていこう。
- 情報が行き届きにくい世代に向けた情報発信を充実させよう。

効果的に環境施策を展開するためには、市民、市民団体、事業者、市がそれぞれの役割を果たし、連携することが大切です。